

サーバーをご利用のお客様へ

プロバケーションの為にさせていただきます対策

別紙「サーバー移転時に発生するプロバケーションについてご理解とご了承のお願い」でご説明させていただいた通り、DNS 移転(サーバー移転)時には、アクセスがどちらへ行くか不安定な状態となります。

● プロバケーションで影響を受けるサービスとその期間

基本的に、サーバーがドメイン名で提供している全ての公開サービスが影響を受ける事になります。またその期間は、DNS 移転日から **1 週間～2 週間**※です。

※ほとんどのアクセスが新しいサーバーへ転送されるまでの、平均期間です。但し、その多くは DNS 移転の 3 日後には、ほぼ新しいサーバーへ転送されているようです。また DNS 情報の浸透期間は、そのドメインによって差があります。

● プロバケーションの為の対策

DNS 移転時に発生するプロバケーションによる影響を最低限に抑える為に、次のような対策を行っていただきます。この対策を行わないと、ウェブサイトが正常な情報提供が出来なかったり、メールを見逃してしてしまう※と言った損害が出る可能性がありますので、必ず下記対策を行って下さい。

※お客様宛に送信されたメールが新・旧どちらのサーバーへ届くか不安定な為、どちらか一方のサーバーしかメールチェックを行っていない場合は、チェックしていない方のサーバーに届いたメールを受信できない為、メール送信者へご迷惑を掛けてしまう事となります。

□ メールソフトの設定 全てのメール利用者

こちらは、そのドメインに属するメールアドレスを利用する全ての方に行っていただく事になります。まず、サーバー管理者様は現在古い設定されている全てのメールアドレスを新しいサーバーで設定します。

そして、メールユーザーの方はメールソフトの設定変更と、新規メールアドレス追加を行っていただきます。つまり、プロバケーション中は、**新旧サーバー共メールチェックを行う事**になります。

この際のメールソフトの設定方法は、別紙「プロバケーション中のメール設定」をご覧ください。

□ ホームページコンテンツの同機 サイト管理者様

新旧両方のサーバーに同じデータを設置します。そうする事で、閲覧ユーザからは見かけ上は変更されていない状態となります。

■更新の際は・・・

プロバケーション時の更新は、面倒ですが新・旧両方のサーバーへ更新作業を行ってください。

■プログラムによる自動更新を設置している場合

こちらで管理者側からの一方的な更新は、新旧両方で同じ作業を行っていただく事で、同機を取る事が可能です。但し、BBSやチャットのようなユーザ側からの更新が頻繁にあるプログラムの場合は、ログデータなどの同機を取る事が困難です。この場合は、古いサーバー側へ来たアクセスを新しいサーバーへIPアドレスで誘導するなどの対策をする必要があります。

■データベースを利用している場合

PHP+データベースなどで動的コンテンツを利用している場合などは、やはり同機を取るのが困難です。簡単な方法としては、古いサーバーへのアクセスを新規サーバーへIPアドレスで誘導するとよいでしょう。また、サーバーの仕様にもよりますがデータベースを外部から参照出来る場合は、常に新しいサーバー側のデータベースをIPアドレスで参照させるようにするなどの対策もあります。

※但し、暗号化されていないデータベースのID、パスワードを送信するのはセキュリティ的に危険な場合がございます。必要な対策を取ってください。

□ FTP、SSHD 接続 サイト管理者様

FTP接続、SSHD接続の際は、ドメイン名では無く目的サーバのIPアドレスで接続するようにしてください。